

第1回 川辺川の流水型ダムに係る環境保全対策 アドバイザー会議

説明資料 【仮排水路トンネル遡上実験結果】

令和7年6月13日



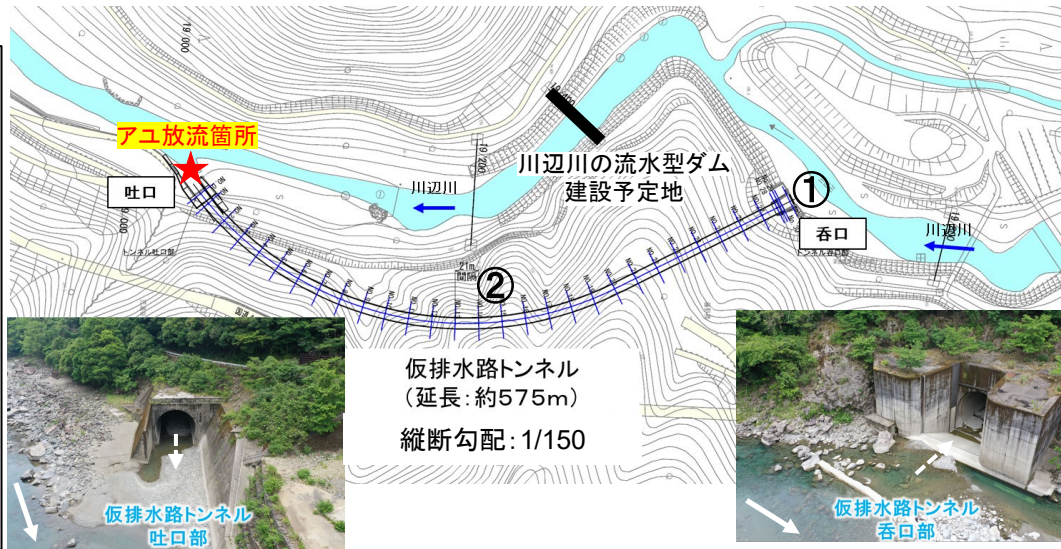
国土交通省 九州地方整備局 川辺川ダム砂防事務所

川辺川の流水型ダム仮排水路トンネルにおける遡上実験結果

- ダム本体工事期間中は、既に整備済みの仮排水路トンネルを用いて、河川の流れを転流(トンネルに迂回)。
- 約575mと長く、かつ暗いトンネル内をアユが遡上できるか確認することを目的に遡上実験を実施。
- これまでの実験の結果、アユが遡上したことを確認。
- 転流期間中でもアユをはじめとした川辺川に生息する魚が遡上できるよう、呑口に新たに魚道を設置するとともに、仮排水路トンネル内の流速を抑制する対策を検討中。

<実施状況>

- 【実験1回目】
- ・実施日 : 4月24～25日
 - ・流量 : 約0.06m³/s ・流速:(流心)0.5～0.9m/s ・水温:約18℃
 - ・実験で使用した球磨川産のアユ:722個体
 - ・遡上個体数:24日 呑口部で624個体を目視確認
25日 実験終了後呑口部で596個体回収
※一部のアユが降下した可能性あり
- 【実験2回目】
- ・実施日 : 5月14～15日
 - ・流量 : 約1.5m³/s
 - ・流速:(流心)約1.6m/s、(両端)0.5～0.9m/s ・水温:約17℃
 - ・実験で使用した球磨川産のアユ:735個体
 - ・遡上個体数:14日 呑口部で153個体を目視確認
15日 実験終了後呑口部で433個体回収



①実験状況(呑口部)



②仮排水路内の状況(中央部)

